

小樽市観光基本計画策定委員会 第一回委員会議事録

日 時 平成 28 年 4 月 28 日 (木) 14:00～15:15

場 所 小樽市民会館 第一号集会室

次 第

(1)開 会 事務局である小樽市産業港湾部観光振興室の保科より開会の挨拶があった。

(2)委嘱状交付 森井小樽市長より策定委員会各委員に委嘱状が交付された。

(3)市長挨拶 森井市長より挨拶があった。(以下に内容抜粋)

「小樽市は、平成 20 年に観光都市宣言をして 8 年経ったが、優れた観光資源や歴史、文化に恵まれ多くの観光客が訪れている。また、昨今のインバウンドの広がりとともに、観光ニーズは多様化しており、産業の中心としての観光を考えた時に、受入態勢づくりなどの取組みが山積している。その環境を整える上で、観光基本計画は重要な位置づけになると認識している。小樽市は昨年、小樽市総合戦略を策定した。この将来都市像は、<訪れる人を魅了し、暮らす人には優しい、市民幸福度の高いまち>と定めている。まさにその中核となるのが、観光基本計画ではないかと感じている。また現在、まちづくりと文化財保存の両立を図るために歴史文化基本構想の策定を予定しているが、小樽市の独自性のある素材を磨き上げるためにも、忌憚のない意見交換の中から観光基本計画を作り上げていただくことを期待する。」

(4)委員紹介 各委員の紹介を自己紹介形式で行った。(配布資料 1)

(5)アドバイザー及び事務局紹介

アドバイザー及び事務局の紹介を自己紹介形式で行った。(配布資料 1)

(6)要綱について 事務局より策定委員会設置要綱について説明があった。(配布資料 2)

(7)委員長及び副委員長の選出

事務局の推薦で、以下の 3 名が選出された。

委員長 李 濟民 氏

副委員長 森 雅人 氏

副委員長 久末智章 氏

(8) 策定委員会のスケジュールについて

策定委員会は、月1回(全8回)の開催で、観光基本計画に盛り込むべき内容を「提言書」としてまとめて12月に市長へ手交する予定で進めるスケジュールであることと、その他資料ファイルの内容や使い方について、事務局より説明があった。(配布資料3)

<主な質疑応答>

○事前に議事の内容を知りたい。

→事前に資料を準備することを基本として対応する。

○代理出席は必要か。

→多くの意見を聞いたので出来ればお願いしたい。

○計画は実施プランも含むのか。

→第一次計画を踏襲する形で行くが、アクションプラン等は付帯意見として提示できるので、より建設的な議論を進めることができる。

○第一次計画との違いは。

→前回は白紙の状態から進めたが、今回は第一次計画に沿って議論して取りまとめていく。

○計画では一年遅れているのか。

→諸般の事情等で、一年空いた形となった。

(9) 小樽観光の概略について

事務局より、観光客入込客数データから見た小樽観光の現状と概略、入込客数の年度別推移や年度内の動向の特徴について説明があった。(配布資料4)(ファイル資料2)

小樽市の観光客は、海水浴客を含めた道内客が全体の7割、外国人客を含めた道外客が全体の3割という構成であること、また日帰り客が約9割、宿泊客が約1割で、その中で外国人宿泊客が増加傾向にあるが宿泊客全体の約15%を占めていること、また一年の中では、“ヤマ”が2回(8月と2月)あることを確認した。

<主な質疑応答>

○観光入込数と経済効果の相関関係のデータがあるといいが。

→5年に一度「観光動態調査」(ファイル資料4)を行っているが、観光客の消費額を推定したり、市内算出額に占める割合などをデータ化している。今後、効果が見えるデータも精査し提供を考えたい。(事務局)

→現実を直視しつつも、5年後10年後を見据えて小樽の観光をどうするのか、未来指向の視点でランドデザインを描きながら進めていきたい。(委員長)

○前回計画の総括は無いのか。

→前回の計画を検証しながらの議論として進めていきたい。(事務局)

→前回の課題も重要だが、小樽の観光の方向性を考えながら、達成できるものそのためには何が必要かという議論をしてほしい。事務局に対しては、前回計画の成果や課題などの資料を必要に応じて提示してもらいたい。(委員長)

○前回の計画が基礎になるだろうか。観光は何のためにするのかという所が見えない。入込数より消費額が重要だと思う。またスパンは10年でいくのか、一般的には5年ぐらいでは。もう一度進め方を考えてはどうか。

→切り口として入込数から説明したが、消費額が重要であると認識している。スパンについては、委員会の中で変更の議論が出てくることに差支えないと考えている。その他ご指摘の点を踏まえ、次回以降、委員長と協議しながら資料等整えて、議案として示したい。(事務局)

→事務局には小樽市が考える観光ビジョンとは何かを検証してもらっている。骨格を提示してもらい、戦略を立てていくやり方がより現実的であると考えている。次回その骨格案も事務局から提示いただく予定。(委員長)

○ファイル資料の「小樽観光戦略構想」が参考になるのでは。

→スタートラインに立てて議論できるようにしたい。(委員長)

○前回の計画で施策として出された評価はあるか。

→小樽市の行政評価制度が確立したのはここ数年で、10年前とリンクしたものはないが、最近実施のもので評価されたものがあれば提出したい。

○取りまとめ後の取扱いについて聞きたい

→提言書とまとめていただき、法令への抵触の問題を検討し成案に向かう予定。提言の内容は最大限尊重する。(事務局)

(10) 閉会

委員長より、次回の日程と、委員会開催の一週間くらい前に資料等の情報を提供することを確認し閉会した。

<次回委員会 5月31日(火) 16:00～／小樽市役所別館3階 第2委員会室>